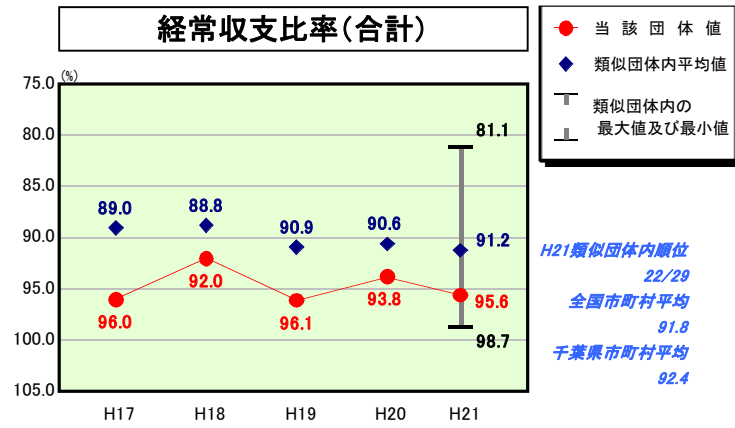


歳出比較分析表(平成21年度普通会計決算)

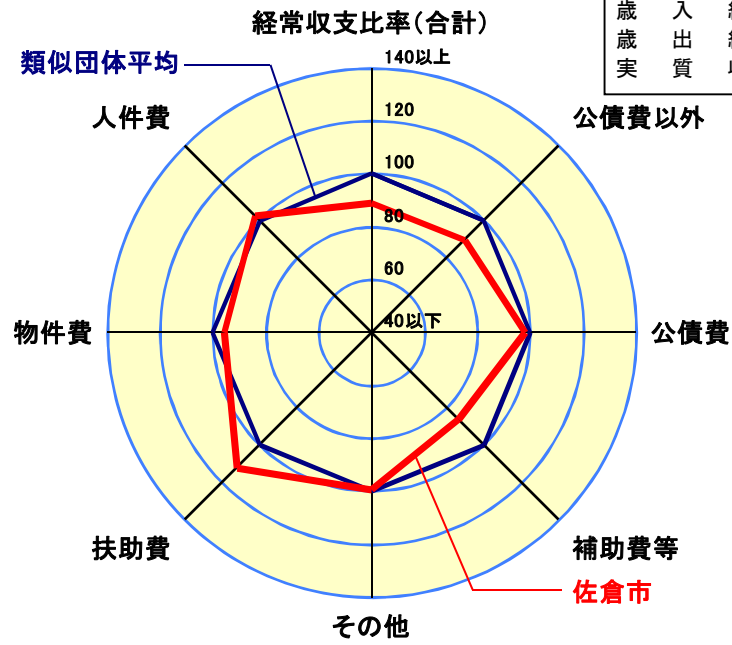
経常収支比率の分析



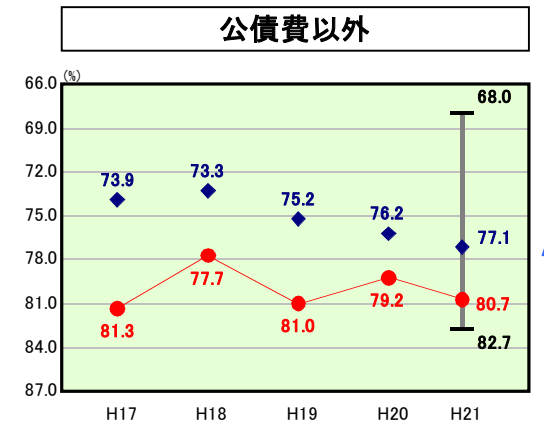
● 当該団体値
◆ 類似団体平均値
┌ 類似団体内の最大値及び最小値

H21類似団体内順位 22/29
全国市町村平均 91.8
千葉県市町村平均 92.4

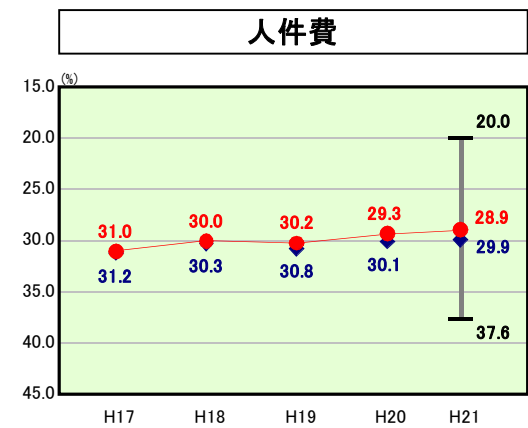
人口	175,914人(H22.3.31現在)
面積	103.59 km ²
標準財政規模	28,170,873千円
歳入総額	42,536,553千円
歳出総額	40,361,889千円
実質収支	1,762,873千円



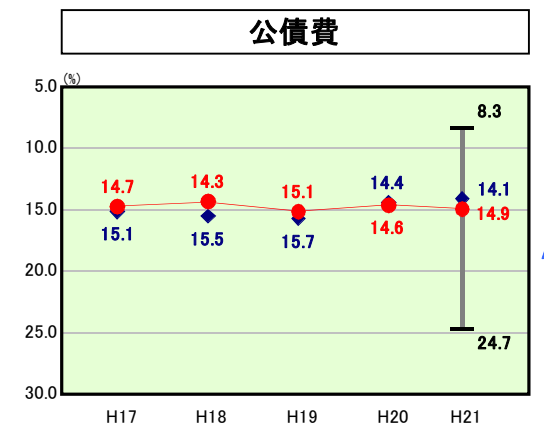
- ※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より外側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。



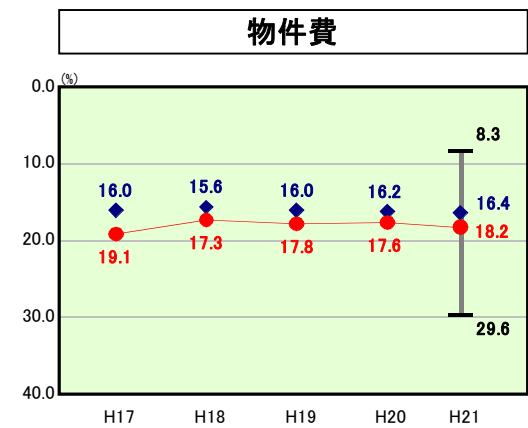
H21類似団体内順位 24/29
全国市町村平均 71.9
千葉県市町村平均 75.7



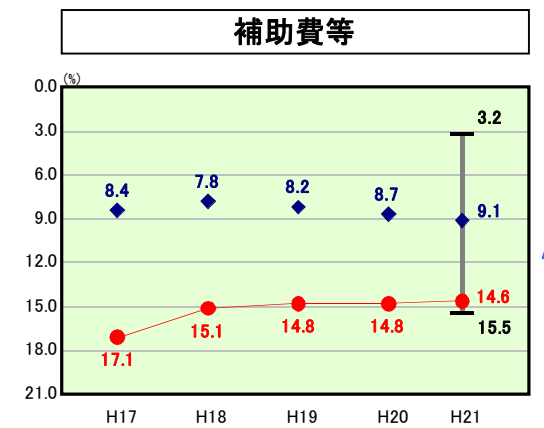
H21類似団体内順位 11/29
全国市町村平均 26.7
千葉県市町村平均 30.8



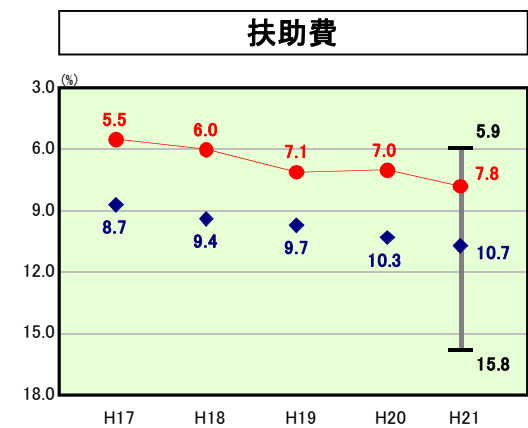
H21類似団体内順位 16/29
全国市町村平均 19.9
千葉県市町村平均 16.7



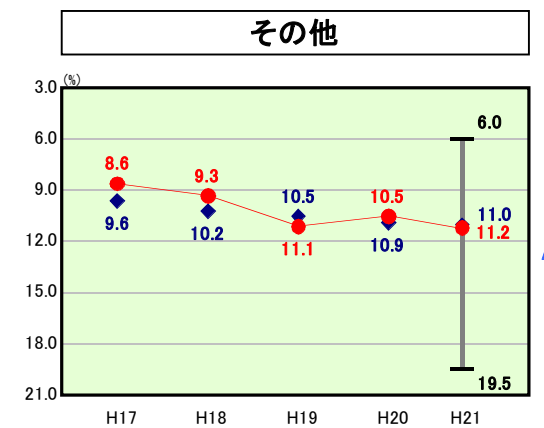
H21類似団体内順位 22/29
全国市町村平均 13.0
千葉県市町村平均 16.7



H21類似団体内順位 26/29
全国市町村平均 10.5
千葉県市町村平均 8.5



H21類似団体内順位 5/29
全国市町村平均 9.6
千葉県市町村平均 8.7



H21類似団体内順位 14/29
全国市町村平均 12.1
千葉県市町村平均 11.0

分析欄

人件費:
対前年度比で0.4ポイントの減少となっており、集中改革プラン、定員適正化計画に基づく職員数の削減や給与の減額改定を進めてきたところであり、人件費総額は減少傾向にあり、今後とも、人件費の適正化に努めていく。

物件費:
対前年度比で0.6ポイント増加となっており、これは、主に指定管理者制度の導入などによる委託料の増加や賃金が増加したものである。平成17年度以降、経常的経費を大幅に削減しているため、今後は、事業自体の見直しをしていかなければ大きな削減効果を期待できない。

扶助費:
類似団体内平均値より2.9ポイント下回っているが、対前年度比で0.8ポイント増加となっており、障害者自立支援給付や生活保護費の増等により、扶助費の歳出総額は増額しており、増加傾向は今後も続くものと見込まれる。

公債費:
対前年度比で0.3ポイント増加となったが、償還額は前年度より減額となっている。地方債の発行額を元金償還金額を越えない範囲内とする方針としていることから、長期的には地方債残高の減少とともに償還額の減額が見込まれる。

補助費等:
類似団体内平均値より5.5ポイント上回っているが、消防・清掃等を一部事務組合で実施していることが要因となっている。なお、平成22年度以降の補助金については、平成20年度に実施された佐倉市行政活動成果評価懇話会での見直し作業に基づき、適正化を図っているところである。

その他:
対前年度比で0.7ポイント増加となっており、要因の一つとして、国民健康保険などの特別会計への繰出金が増加傾向にあることが挙げられる。

普通建設事業費:
人口1人当たり決算額は対前年度比で9%の増加となっており、これは佐倉中学校校舎改築などの教育施設の改修や、国の経済対策に伴う交付金を活用した施設整備などが要因である。普通建設事業費は、平成17年度以降はそれ以前と比較して半減させてきているが、現在の状況において財政運営の持続性を確保するためには、国からの補助などを含めた歳入増がなければ引き続き抑制せざるを得ない。ここ数年は最小規模にまで切り詰めた状況となっているが、今後は、小中学校の耐震補強工事や、公民館、図書館などの公共施設の老朽化に伴う大規模改修などが予定され、これ以上の削減は困難な状況である。